

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2024～2025年度 国際ロータリー ステファニー・A. アーチェック 会長テーマ

THE MAGIC OF ROTARY ロータリーのマジック

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 内藤 昇
幹事 磯部 一智
会報委員長 花井 淳

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3267回例会プログラム

[当年度=26回目；当月=1週目]

2025年（令和7年）3月3日(月)

創立記念例会

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:10 〈食事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. 黙禱
5. 国歌斉唱
6. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想
7. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
8. 会長挨拶並びに会長報告
9. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(3/10) ……
新会員アワー 倉世古哲司 会員
" 加藤 大典 会員
(3/17) ……休会
(定款第7条第1節 (d))
- 13:00 15. 本日のプログラム
卓話 「工業都市刈谷の発展」
講師 刈谷市郷土資料館
学芸員 井筒 康人 様
(紹介者 池田 直樹 会員)
16. 謝辞
17. 点鐘……〈会長〉
18. 閉会宣言
13:30 19. 散会

出席

会員総数 94名 出席免除 23名
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名
欠席 11名 出席率 87.50%
前々回(2/10)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 2月度ゴルフ例会が2月13日、多治見カントリークラブで開催されました。グロス85、ネット73で、杉浦祐介会員が優勝されました。

幹事報告

- 1) 神谷龍司会員がお亡くなりになりましたので、会員数を94名と訂正させていただきます。
2) 本日例会終了後に特別会議室にて、第9回の理事会を開催致します。関係の会員はご出席をお願い致します。

会長あいさつ

内藤 昇



皆様こんにちは。ご存じの通り、3月は「水と衛生月間」として、世界中で水と衛生の問題への意識を高め、解決に向けた取り組みを強化する月です

安全な水と衛生設備をすべての人が利用できるよう、ロータリーが掲げる目標年は2030年となっています。

水と衛生は、私たちの健康、生活の質、さらには教育や経済活動にも深く関わっているテーマです。しかし、今も世界の多くの地域では安全で清潔な水へのアクセスが限られており、それが命に関わる問題を引き起こすことがあります。特に、開発途上国では、衛生状態が不十分のために毎年多くの子どもたちが命を落としている現実があります。

ロータリーは長年にわたり、この水と衛生に関する問

題解決に取り組んできました。私たちが掲げる「奉仕の理想」は、単なる物理的な支援にとどまらず、教育や啓発を通じて持続可能な解決策を提供することにあります。過去には、井戸の設置や水源の確保、衛生教育の実施など、多岐にわたるプロジェクトを支援してきました。そして、その活動を通じて多くの命が救われ、地域社会の生活環境が改善されました。

さらに、最近の出来事として、国内外での異常気象や災害が続いていることも、水と衛生問題に対する意識を一層高めています。豪雨や干ばつによる水不足は、これまで以上に深刻な影響を及ぼしており、私たちが普段当たり前に使っている水の大切さを再認識させられます。こうした状況の中で、地域の人々への支援や、持続可能な水の供給体制の構築は、ますます重要な課題だと再認識させられました。

3月は「水と衛生月間」であるとともに、もうひとつ私たちにとって大切な季節がやってきます。それは、プロ野球シーズンの開幕です！ 特に、私たち愛知県に住んでいる者として、中日ドラゴンズの応援を忘れるわけにはいきません。

今年のドラゴンズは、金丸夢人投手、吉田聖弥投手、カイル・マラー投手、ジュニオル・マルテ投手、石伊雄太捕手、ジェーソン・ボスラー外野手など新たな選手の加入や若手選手の台頭など、非常に楽しみなシーズンとなりそうです。昨シーズンは惜しくも順位が低迷しましたが、選手たちは全力で戦い、私たちファンに多くの感動を与えてくれました。新たなシーズンが始まるにあたり、ドラゴンズの躍進を心から期待しています。

私たちロータリークラブも、チームワークが非常に大切であるという点で、ドラゴンズの活動と通じる部分が多いと感じています。試合においては一人一人の選手が全力でプレーし、チーム全体の力を結集して戦います。ロータリークラブでも、各々が自分の役割を全うし、仲間と協力しながら一つの大きな目標に向かって進んでいきます。私たちの活動も、まさにそのような「チームワーク」によって成り立っているのです。

先日の西三河分区分区インターシティミーティングにおいては実行委員会の皆様はじめ全ての会員のチームワークで、素晴らしいIMになったと思います。吉原孝彦ガバナー補佐、盛田分区分区幹事、都築分区分区副幹事、杉浦文雄IM実行委員長、出口副委員長、神谷実行幹事、はじめご協力頂いたメンバーの皆様、ありがとうございました。



計 報



故 神谷 龍司 会員
令和7年2月13日ご逝去
享年86歳

お 祝 い

3月の会員の誕生日…小林祥浩、加藤真治、南康、内藤昇、野村紀代彦、神谷強、角谷広高、加藤英樹、武田大吾、宮地秀将会員。

配偶者の誕生日…久米直美（博明）、毛受清美（豊）、黒田加代子（栄一）、横山陽子（裕司）、加藤由美子（英樹）、山下美和（雅則）、杉浦美紀（祐介）様。

結婚記念日…内藤耕造、野村重彦、橋本恭典、今村順、下谷敏朗、横山裕司、武田大吾、松村文登、北澤亮二、石川友美、丸山和則会員。

3月度入会記念日…原田光二、岡本巧、出口達也、中川耕児、佐野彰彦、都築浩介、岡本知樹会員。

卓 話

「工業都市刈谷の発展」

講師 刈谷市郷土資料館
学芸員 井筒 康人 様



刈谷が工業都市へと発展してきた過程は、刈谷市歴史博物館の展示にとっても、大きなテーマです。いくつかの資料を紹介しながら、工業都市刈谷のルーツをたどります。

刈谷の人口や工業生産額の推移をみると、1920～30年に一つの画期があります。豊田佐吉・喜一郎親子が作り上げた自動織機の試験工場を刈谷に誘致した時期に重なっています。

豊田紡織が刈谷に進出したきっかけとして2つのエピソードが知られているように、当時の刈谷の方々は、誘致の実現に向けて力を尽くされました。また、刈谷が新工場の用地に選ばれた背景には、鉄道網が明治から大正にかけて整備されてきたことや、在来の工業として長い伝統を持つ窯業が存在したことなどが考えられます。

実際に操業を始めた豊田紡織刈谷試験工場での「営業的試験」が成果をあげ、無停止替替式豊田自動織機（G型自動織機）が完成しました。その後、自動織機の製造・販売を担う、豊田自動織機製作所が設立されました。そして、同社はのちに自動車製造に乗り出し、刈谷の地で初めて試作乗用車（A1型試作乗用車）を完成させました。

自動車製造が本格化し、挙母町に量産工場を建設した

後も、刈谷と豊田系企業とのつながりは続き、現在に至っていきます。試験工場の誘致をとおして地域と企業双方に信頼関係が築かれたことがその一因とされています。地域と企業との関係を物語る、亀城小学校講堂建設にまつわる1つの逸話があります。この講堂とほぼ同時期に建てられた同校の本館が、現在は刈谷市郷土資料館として活用されています。

『第3次刈谷市観光推進基本計画』では、「知れば知るほど好きになる！伝えよう わがまち 刈谷」を目指す観光の将来像としています。歴史の面から刈谷の魅力を伝えていけるよう努めていきますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

2月度刈谷 RC ゴルフ例会

令和7年2月13日(木)

於：多治見カントリークラブ

成績	氏名	G	H	N
優勝	杉浦 祐介	85	12.0	73.0
2位	澤田 昌秀	93	18.0	75.0
3位	神谷 強	93	16.8	76.2
B B	豊田 貴久	96	16.8	79.2

